上 25 mm（掲載号ヘッダーまで 15㎜）
下 25 mm（頁番号フッターまで 15㎜）
左右余白 18 mm

タイトル（和）は，太明朝，サイズ 10.5

報告・ひろば等用

砂防学会誌，Vol. ○○，No. ○，p. ○－○，2006

砂防学会誌投稿原稿－フォーマット－

著者名（和）は，明朝，サイズ 10.5

砂防　太郎*

大見出し（章）は太ゴシック，サイズ 10.5。
１行空けてから大見出し（章）を記す。
本文は 25 字詰め，明朝，サイズ 9。

１．はじめに

このフォーマットは，報告，新刊・文献紹介，ひろば，随想，ニュース，訂正などの原稿種別で用いてください。

フォーマットは，砂防学会誌に投稿する場合に著者が図表等の大きさ（文字の見やすさ）と配置，超過ページの有無などおよその状態を知ってもらうためのものです。掲載決定後，実際の印刷に当たっては，印刷会社が提出された電子データや原図等を編集してレイアウトをし直して製版します。印刷段階でこのフォーマットと異なる（図表の位置が多少変更になるなど）こともあります。その原稿で著者校正を行います。最終ページ数はその時に決定されることを了承して下さい。

原稿の作成にあたっては，「砂防学会誌投稿要領」および「砂防学会誌執筆要領」を確認して，適切な体裁の原稿の作成をお願いします。pdf に変換した原稿を電子メールに添付して提出して下さい。

２．原稿体裁

用紙サイズ・余白は A4 サイズ，余白は上下 15 mm，左右 18 mm とします。1 ページ目の表題等の構成は次の通りです。

1) 表題
2) 著者名・所属（全著者を記載)
3) 本文（和文）
4) 引用文献

表題等の下から，本文を始めて下さい。本文は 25 字×50 行×2 段組とします。図（写真含む)・表は上下いずれかにまとめて本文の適切な箇所にオブジェクトを挿入して下さい。

原稿の刷り上りページ数は以下のとおりです。

1) 報告は 4 ページ以内（超過ページを含めて最大 8 ページ)
2) 新刊・文献紹介と訂正は 1 ページ以内
3) ひろばは 2 ページ以内

３．本文と図表

本文，図表を適宜組み合わせて入力して下さい。

3.1　図表および数式

図表は関連する文章と対照しやすいように著者が挿入したい場所にオブジェクトか，拡張メタファイル形式で貼り付ける。図表は上下いずれかにまとめて配置することとし，本文中にははさまない。図中の点や線，軸の目盛等は明瞭に分かるように大きさ等に注意して，単位系も明示して下さい。単位系は本文・図表を含め，SI 単位系を基本とします。

3.2　数式

数式の記入は，下のサンプルのように数式フォームを用いて下さい。1 行に収まらない場合には，2 行に分けて記入し，式番号は数式の直後から破線を引いて行末に示します。数式を本文中に記述する場合は，y＝a / x などのように行内に収めて下さい。

$$\frac{\partial M}{\partial t}+\beta\frac{\partial}{\partial x}(uM)+\beta\frac{\partial}{\partial y}(vM)=-gh\frac{\partial H}{\partial x}-\frac{1}{\rho_T}\tau_{bx} \quad \cdots\cdots (1)$$

3.3　見出し，箇条書，句読点

本文中には次の見出し番号を付けて下さい。

第 1 順位（章）　１．　２．　３．　･･･
第 2 順位（節）　1.1　2.2　3.3　･･･
第 3 順位（項）　1.1.1　1.1.2　1.1.3　･･･
箇条書き　1)　2)　3)　･･･

見出しの後は改行し，全角 1 字空けて本文を書き始めます。なお，第 1 順位（章）の前は 1 行空けて下さい。

句読点は，カンマ（,）と丸（。）を用いて下さい。なお，カッコなどには全角 1 字分を充てて下さい。

3.4　引用文献・参考文献

文献の引用は以下のフォーマットで行います。詳細は「砂防学会誌執筆要領」をご確認ください。

3.4.1 文中引用の記法

本文中で例えば（芦田ら，1978）と書きます。

3.4.2 引用文献リストの記法

末尾に次の形式で記載します。

芦田和男・高橋保・水山高久（1978）：山地河川の掃流砂量に関する研究，砂防学会誌（新砂防），Vol.30，No.4，p.9-17

堀田紀文・厚井高志：山地からの土砂流出の変遷の実態－流域の土砂貯留量の変化に着目して－，砂防学会誌，Vol.63，No.5，p.52 -61，2011

・日本語の場合「()，・，：－」等は全角、巻号頁の「.-/」等は半角。
・英語の場合、「(): title, Vol.1, b : c」等は半角と半角スペース；例)。
・原稿種別毎の様式・記法は砂防学会誌執筆要領を参照

マットフォーマットフォーマットフォーマ